

「橋梁長寿命化技術に関する技術研究交流会」
～鋼橋の長寿命化技術に対する防食技術の現状と今後の展望～

日時：2012 年 12 月 18 日（火） 13：45～18：05

場所：琉球大学 研究者交流会館・50 周年記念会館

参加人数：100 名（先着順）

参加費：土木学会正会員・土木学会西部支部沖縄会会員：2,000 円、非会員：7,000 円

※会員で CPDS 受講証明書を希望しない方は無料です。

※会員入会は <http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html>。なお、当日の会員入会も可能です。

主催：土木学会西部支部沖縄会・技術委員会・橋梁長寿命化技術小委員会

●プログラム

司会：玉城喜章（橋梁長寿命化小委員会幹事長）

	時 間	発 表 内 容
開会の挨拶	13：45～13：50	土木学会西部支部沖縄会会長 矢吹哲哉（琉球大学名誉教授）
基調講演 1	13：50～14：50	鋼道路橋塗装・防食便覧の現行仕様と最新動向について 講師：（社）日本道路協会 鋼橋塗装・防食便覧分科会長 高木千太郎
講演 1	14：50～15：20	沖縄地区鋼橋塗装マニュアルの現行仕様と最新動向について 講師：沖縄地区鋼橋塗装マニュアル検討委員会 米須 勇（沖縄総合事務局）
講演 2	15：20～15：50	飛来塩環境下での大気腐食と腐食環境評価 講師：琉球大学 押川 渡
	15：50～16：00	休憩 （10 分）
●技術討論会 16：00～18：00 「金属溶射・溶融技術は鋼橋の腐食耐久性向上策になり得るか？」 ●コーディネーター：琉球大学 下里哲弘 ●討論パネラー：高木 千太郎（鋼橋塗装・防食便覧分科会長）、前田 博（日本橋梁建設協会防食部会長） 米須 勇（沖縄総合事務局）、我謝 将人（沖縄県）、片山 英資（福岡北九州高速道路公社）、長嶺 由智（（社）沖縄県建設業協会）、親泊 宏（沖縄県測量建設コンサルタンツ協会） ●プログラム 1. 沖縄における鋼橋の腐食損傷の実態と防食技術の開発状況：琉球大学 下里 哲弘(15 分) 2. 新防食技術の開発状況について：日本橋梁建設協会防食部会 前田 博(25 分) 討論 1 (15 分)—沖縄に適した防食技術とは？— 3. 伊良部大橋主航路鋼橋における新防食技術への挑戦：沖縄県土木建築部 我謝 将人(20 分) 4. 福岡北九州高速道路における金属溶射の適用事例：福岡北九州高速道路公社 片山 英資(25 分) 討論 2 (15 分)—金属溶射は鋼橋の腐食耐久性向上策になり得るか？—		
閉会の挨拶	17:55～18：00	土木学会西部支部沖縄会技術委員会委員長 有住康則（琉球大学）

参加希望者は、電子メールか FAX にて氏名・所属を明記の上、下記までお申込み下さい。

申し込み先および問合せ先：

一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所 〒901-2122 浦添市勢理客四丁目 18 番 1 号

TEL098-879-2091 FAX098-874-5301 宛先：玉城 喜章 (koryukai@shimatate.or.jp)

以 上

会場案内



琉球大学西原口を入り、構内の信号を左に曲がり、左手すぐ。